



白山市制15周年記念アンサンブル金沢公演 特集

前号でも載せさせていただいた、2月11日に行われた、白山市制15周年記念、白山市の第九コンサートに特別合唱団として参加した河内小学校3～6年生の様子を特集します。本番や直前リハは撮影できませんでしたので、本番の臨場感は伝わらないかもですがご覧下さい。



2月10日、前日合同リハーサルの様子 河内小児童は左側です。小学生は松陽小、北陽小と合わせて80名。河内小は3～6年生のうち18名が参加しました。3年生児童参加は本校だけでした。なかなかハードでしたがよく頑張りましたね。指揮者の広上先生は「麒麟がくる」のメインテーマを指揮されたとても素敵な方です。わかりやすくユーモアたっぷりの指導を受けて子どもたちの声もどんどん変わっていきました。



松任文化会館の控え室で直前の声出しの様子です。指導して下さっているのはアンサンブル金沢の岩崎先生です。岩崎先生、韓先生ピアニストの川岸先生、澤田先生プロに教えてもらえたことはとてもいい経験でした。



11月6日（水）初めての練習 水曜日の5限と河内っ子タイムを使って、アンサンブル金沢の先生、プロのソプラノ歌手の先生にきていただき、1月まで計6回練習をしました。かなりハードで最初のうちは3年生は疲れて寝てしまう子も・・・

冬休み中の1月5日（日）、初めての合同練習、「大丈夫かな？間に合うのかな？という出来・・・校長はドキドキでした。

2月2日（日）第2回合同練習 だいぶ良くなってきました。この調子で・・・



2月9日（日）、雪の中、指揮者の広上先生とはじめての練習。山台（ひな段）の上ののって1時間半、広上先生のおもしろくて、的確な指導でどんどん素敵に変わってきました。さすが・・・

2月10日（土）リハーサル。初めてオーケストラの演奏で歌いました。目の前に初めて見るような楽器が・・・すごく迫力のある音。だけどあれで本番の60%だって・・・



そして当日リハ、本番。子どもたちは、めったに出来ない体験をさせていただきました。プロのオーケストラの音を間近で聞けて、一緒に演奏できるなんて。今はぴんどこないかもしれませんが、きっと子どもたちの心の深いところに刻まれたと思います。

子どもたちの作文から（4年生）

きのう、松任文化会館でオーケストラアンサンブルの本番がありました。私の一番がんばったことは、練習です。声出しが一番大変でした。私たちは「白山市民の歌」「夕焼け小焼け」「ふるさと」「大地讃頌」を歌いました。すごく大変だったのは大地讃頌です。練習でうまくいかなかったことは「夕焼け小焼け」と「大地讃頌」の「は」と「ゆ」のはじめの言葉です。私たちは、その言葉を何回も何回も練習しました。うまくいったことは、白山市民の歌です。大人の人よりも声が出ていると聞いてくれたことがうれしかったなあと思いました。練習と本番ですごく声の出し方が違ってたなと思いました。本番で真剣に楽しく歌えて良かったです。